

森林ファンドの現状と展望

東京大学工学系研究科 小野 泰宏氏

川中や川下では、CLTの本格的な利用が始まるとともに、CLTや集成材工場への低コスト原料供給を目的とした大規模なラミナ製材工場が新設されるなど、国産材の利用拡大に向けた活発な取り組みが行われています。また、FITによる木質バイオマスエネルギー利用も大きく増大するなど、林業の成長産業化に向けた活発な動きがみられます。これに対して、川上の林業サイドでは、原木の伐出を担う素材生産事業者は高性能林業機械の普及が進むなど、比較的順調に事業拡大や生産コスト低減が進んでいますが、森林所有者の林業収入は伸び悩んでいるため、その経営意欲は低いままで、皆伐・再造林が円滑に進まない地域も少なくありません。

一方、海外においては、北米やオセアニアを中心として収益性の高い林業を背景として、金融界を巻き込んだ森林ファンドが日本の森林面積に匹敵する2400万ha以上展開しており、木材産業の競争力強化にもつながっています。

そこで、前回の日本林業を牽引する速水氏に続いて、海外の森林ファンドに詳しい小野さんから森林ファンドの現状と展望についてご講演いただきます。

ご参加のみならずとともに、川上から川下までが一体となった取り組みによる木材需要拡大に向けて、ディスカッションさせていただきたいと考えております。

～ 記 ～

□日 時：平成30年2月15日（木） 17時30分～（受付開始は17時00分～）

□会 場：東京大学農学部 フードサイエンス棟 中島ホール
場所の詳細は下記ホームページにてご確認ください。

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_07_14_j.html

□主 催：木材利用システム研究会

□定 員：80名（定員になり次第、締め切らせて戴きます）

□参加費：会員は無料、非会員は3,000円

情報交換会は実費（3,000円）を戴きます。会場準備の都合上、申込期限日以降のキャンセルはご容赦戴けますよう、ご協力の程よろしくお願い致します。

□申込期限：平成30年2月8日（木）

□申込方法：当研究会ホームページ（<http://www.woodforum.jp>）からお申し込みください。

木材利用システム研究会事務局：
〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1、7号館B棟439室
電話：03-5841-7506 FAX：03-5841-0915
メール：info@woodforum.jp